



Atsushi Mekaru

銘苺 淳の

HAPPY HANDBALL

vol.14

PROFILE

1985年4月3日生まれ、26才。沖縄県浦添市出身。港川中で野球から転向してハンドボールをスタート。那覇西高一筑波大を経てトヨタ車体に進み、時代を変えるセンターとしての期待を集めて躍動中。ひたむきな取り組み、明るく快活な性格で、ワールドクラスのコミュニケーション能力を誇る『ハンドボール界の松岡修造』。連日更新しているブログ「おにあくま」(<http://meka-atsu.jugem.jp/>)も好評だ。

おごらず、にくまず、あせらず、くさらず、まけるな!!

ハンドボールは「宇宙」だ!

寒くなって外に出るのもためらう季節ですね。しかし、冬の空は大気の流れが速いので、澄み切って星や月の明かりがより輝いて見えますよ～。そこで今回は宇宙のお話。

サイドは宇宙

私が高校生で6:6の攻防をしていた時のこと。OFをサイドまで追い込んだのですが、狭い角度から飛び込まれてサイドシュートを決められてしまいました。

その時、先輩同士で「今は打たせていいだろ」「キーパー止められるだろ」という会話をしていたんです。私もそう思っていました。「今のシュートを決められると厳しいな」と。

でもその会話を聞いた新垣健先生のひと言は「打たせていいってあるか。サイドは宇宙だよ、宇宙!!」というのです。もう意味がわかりませんでした(笑)。

健先生いわく、「サイドは50cmあれば飛び込める。中に飛び込んでしまえば、あしたりこうしたり無限の可能性がある。だから打たせていいというのはない。守り切るんだ」と。私はこれを機にハンドボールの捉え方が少し変わりました。ハンドボールはその場面場面で無限の可能性があるのでね。

無限⇄有限

無限の可能性と表現しましたが、自分を磨いて追求して可能性を広げるのは自分自身です。サイドシュートを例に取ると、「え～、こんな狭い角度しかないのにシュート打たなきゃいけないの」と思うか、同じ場面でも「この角度しかない

けど、僕は飛び込んで決める!!」と思うかは大きな違いです。「やらなきゃいけない」と感じながらやるのと、「できる、やってやる」と想いを込めてやるのとではぜんぜん違ってくるし、そこに自分の意志があるので身体が動くようになります。

心理学的にも言えることですが、事実は変えられないけど、捉え方は変えることができます。1つの現象をポジティブに捉えるか、ネガティブに捉えるかは自分次第ということですね。という私もひんぱんにネガティブになります。その時はチームメイトがご飯を食べながら話をしてくれたりしてテンションを上げてくれます↑↑ やっぱり持つべきものは友ですよね♪

声

先日、ある高校の先生が言っていました。「あのチームは元気だけはある。あの元気で5点は違う」と。その元気ですが、なにを感じて元気があるというのでしょうか? きびきびした行動はもちろんです。私の場合はやっぱり「声」ですかね～。そこに想いがこもっていると声は自然に出てきます。言わされているのか、自分の意志で声を出しているのかは聴いてわかります。

中高生の場合、どんな声を出せばいいのかわからないから出さないということもありますが、自分の意志で、自分の口から発するならばなんでもいいと思います。そして、そんな声は聴こえてきます。余談ですが「聴く」という漢字は「耳」に「目+心」と書きます。大事なことは

「耳と目と心」で「聴く」んですね。思わず目と心を奪われてしまうような、会場中をHAPPYにするような声を出していきたいものです。

コートでの掛け算

「パフォーマンスは、才能と努力と情熱の掛け算だ」と大学生の時に教えてもらいました。どれだけ素晴らしい原石でも磨かなければ輝きませんし、今その瞬間に輝こうとしなければ輝きもくすんでしまいます。しかも掛け算なんです。みなさんご存知のとおり、掛け算は特殊な性質を持っています。どれだけ大きな数でも0をかければ0になります。また、1つ「- (マイナス)」があると全体が「- (マイナス)」になります。これを当てはめると、どれだけ才能があっても努力を重ねても、それに対する想い、その瞬間に対する情熱がないと「0」になってしまいます。また、一生懸命を履き違えて、情熱にアンフェアな「- (マイナス)」が加わると全体が「- (マイナス)」になって、どれだけ点をとって活躍しても、その選手全体が「- (マイナス)」の評価になってしまいます。

どれだけ想いをもって取り組んでいるのが情熱で、それは才能や努力といっしょでパフォーマンスをつかさどる重要な要素になります。それが目に見えてくるのが元気と表される声や行動や表情だったりするのかもしれないね。

全日本総合優勝

おかげさまでトヨタ車体は全日本総合優勝を飾ることができました。

これは過去の歴史の中で先輩方が築いてきた伝統と注いでこられた情熱、会社をはじめ応援してくださった方々の想いの強さと選手1人ひとりの小さな力が掛け算となっていていい表現ができたからだと思います。みなさんの応援と我々の取り組みで強いチームになる無限の可能性がありますので、これからもよろしくお願ひいたします。

我々がお世話になっているハンドボールコートは小宇宙です。ハンドボール競技ももちろんです。社会に出てからも必要になる礼節やコミュニケーションも学ぶことができます。

冬の空のように澄んだハンドボーラーの目には宇宙のように無限の可能性が秘められているのかもしれないね☆

